

配当年次・単位・授業形態	4年次	開講期	後期	必修	2単位	実習
授業科目(英名)	療養支援看護実習 (Clinical Practice of Recuperatory Nursing Care)					
担当教員名	看護学部専任教員					(◎は科目責任者)
<p>【授業の概要】</p> <p>療養の場が病院などの施設から在宅へと移行していく対象者と家族の療養上の支援ニーズを明らかにし、これらを達成するために対象者を取り巻く保健医療福祉チームを構成している各専門職がどのような役割を果たし、お互いにどのように連携し合い、協働しているのかを明らかにします。また、対象者や家族がこれまでの生活を大切にしながら、その人らしく・家族らしい療養生活を実現するために看護職が保健医療福祉チームにおいてどのようなリーダーシップを発揮しているのかを明らかにして、チーム医療における看護職の役割と専門性および将来に向けての課題と望ましいあり方について考察します。</p>						
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康レベルに応じて療養の場を移行する対象者と家族の療養上の支援ニーズを看護の視点から明らかにすることができる。 対象者と家族の療養支援ニーズを満たすために、入院患者や家族を中心に、どのような専門職によるチームが結成され、各々の専門職がどのような役割と専門性を発揮しているのかを明らかにすることができる。 保健医療福祉チームが、対象者と家族の療養支援ニーズへ対応するためにどのような目標を設定し、どのような支援計画のもとに療養支援を行っているのかを明らかにすることができる。 チーム医療活動における、各専門職の相互連携と調整について明らかにすることができる。 対象者や家族がその人らしく・家族らしい療養生活を実現するために看護職が保健医療福祉チームにおいてどのようなリーダーシップを発揮しているのかを明らかにし、チーム医療における看護職の役割と専門性について考察することができる。 保健医療福祉専門職の協働によるチーム医療の課題と、将来に向けての望ましいあり方について考察することができる。 グループメンバーと協力して、積極的に実習に取り組み、専門職としての自律性を発揮し、責任ある態度で行動することができる。 						
授業計画		授業外学習(事前学習・事後学習)				担当者
<p>【授業形態】</p> <p>1グループの学生数は4～6名とし、地域連携や退院調整システムが整備されている医療施設で実習を行います。</p> <p>【実習期間】</p> <p>2020年8月24日(月)～9月4日(金)</p> <p>【実習内容】</p> <p>(1) 対象者の看護ケアへの参加 退院支援・退院調整が必要な対象者・家族のアセスメントを行い、看護の視点でケアの必要性を明らかにして、看護援助計画に基づき看護を実践し評価すると共に、その患者を取り巻く保健医療チームの一員として協働しながら日常生活支援やリハビリテーション等のケアに可能な範囲で参加します。</p> <p>(2) 多職種との連携と調整のチーム活動を行っている場面(退院に向けたカンファレンス、ケースカンファレンス等)への参加 実習中に、主治医や看護師等の様々な職種で関わっている退院支援・退院調整のためのチーム連携の場面に参加します。学生の受け持ち患者である場合が最も望ましいですが、それ以外のケースであってもチーム連携の場を体験しチーム医療活動の実際を学ぶ機会とします。</p> <p>(3) 地域の保健医療福祉機関との連携調整場面への参加 施設に医療、介護、福祉をトータルでサポートできる地域連携室および退院調整室等の独立した部門がある場合は、可能な限り見学を行います。ケアマネジャー、訪問介護・看護への連絡調整や担当者会議、福祉用具導入時の訪問、退院調整会議等に参加します。 また、受け持ち患者の初回外来受診場面の見学が可能ならば参加し、アセスメントの視点を把握し、継続的な支援体制について把握します。</p> <p>(4) カンファレンス(日々のカンファレンス)</p> <p>【学びのまとめと発表】</p> <p>実習最終日に、実習病院毎に実習の学びを共有するカンファレンスを実施します。学びを共有するために、実習の成果を学内または実習施設で発表します。</p> <p>【レポート課題】</p> <p>以下のテーマで、実習での学びをまとめます。 テーマ: 「退院後の療養生活を捉えたチーム医療の成り立ちとその中の看護職の役割」</p>		<p>事前課題 事前課題内容 (詳細はオリエンテーションで説明します) 以下について、事前に学習し、レポートにまとめ整理してください。 (1) 実習施設の概要および特徴 (2) 退院支援・退院調整とは (3) 在宅療養移行支援とは (4) 退院支援にかかわる多職種 ①病院の支援スタッフ ②地域の支援スタッフ ③病院の地域連携スタッフ (5) 退院支援にかかわる法令・制度 (6) 保健医療福祉チームにおける看護職の役割</p>				
成績評価と基準		1) 実習目標の到達度 2) 実習態度・出席状況 3) 記録・レポート 4) 評価表 上記に基づき総合的に評価します。詳細は「実習要項」をよく読んでください。				
履修上の注意		事前に行われるオリエンテーションに必ず出席し、実習目標や学習への取り組みを理解してください。 履修規程に定められた実習科目の出席時間数を満たすことが単位認定の条件となります。 詳細は「実習要項」をよく読んでください。				
全学年を通しての関連科目		4年次までに学んできた、すべての専門基礎科目、専門科目との関連が深い科目です。特に、4年次に開講される統合科目「チーム医療論」は、この実習に取り組む上で関連の大きい内容を含んでいますので、履修することを強く勧めます。				
[ディプロマポリシーとの関連]		4年間の学習を統合させていくこの実習科目は、すべてのディプロマポリシーが関連していますが、特に、6、5、4との関連が深いです。				
教科書		特に指定しません。				
参考書・参考資料		適宜指示します。これまでのテキストや図書館にある書籍、雑誌などの文献を活用してください。				
オフィスアワー		実習期間中、教室や研究室、実習先施設において担当科目に関する質問や相談を受け付けます。				